

平成16年度 第4回理事会議事録

於:熊本市 水前寺共済会館 スカイルーム

出席者 会長:魚住 事務局長:今坂 研究部長:大岩
理事:柴尾(荒玉) 池田(鹿本) 満田(菊池) 藤本(阿蘇) 軒口(熊本)
中川(上益城) 宮本(宇城) 早田(八代) 森山(人球) 田中(水葦)
松崎(天草) *水葦地区 田中理事は都合により欠席 代理 森北副会長
事務局員:山口、中山(総務) 萩尾、志垣(会計) 高田、告本(事業)

1 開会 10:00~

2 会長挨拶 魚住会長

3 経過報告 今坂事務局長

※連絡 有料化前の学校事務必携の残金(840,810円)はH16.12.22に会長名義で新規作成した別口座に入金し、通帳は事務局長が保管。今後、理事会の決定に基づいて運用していく。

(議長選出 : 天草地区 松崎 理事)

1 議事

I 平成16年度事業報告(案)

1 総括

第4回事務局・研究部合同会での総括をもとに事務局長から報告がありました。

特段の質疑はなく、承認していただきました。

2 会務運営報告

①全事研の加入問題について以下のような意見がありました。

- ・全事研の加入問題について「組織として加入」というのはどのような形かはっきりしていない。
- ・アンケートの結果は回答数の過半数が賛成であり、会員総数の過半数の賛成ではない。

各地区の状況

(荒玉)会費は賛同者のみ徴収ということなので、特段の意見もでなくて議論は進んでいない。

(阿蘇)会費は賛同者のみ徴収ということなので反対の意見はでていない。

(八代)組織として加入するのに会員全員分の会費は納めなくてもいいのかという質問がでている。

(上益城)全事研加入に関して興味がない。加入してなんになるのかわからないという意見がほとんど。会費は賛同者のみから徴収となっているが組織として加入すれば責任問題はどうか。

→(会長)組織での加入なので、責任は熊事研の責任であり、個人の責任はない。

(天草)臨採の若手の事務職員ばかりなので、全事研加入してなんになるのかわからないということで議論は進んでいない。

(菊池)全事研と直接だれがかかわっていくのかははっきりしておく必要がある。会費の納入など、地区の世話はだれがするのか。

(熊本)全事研加入の問題から県事研の会費さえ払わないという人が増えるのではないか。

全事研の加入は地区研の加入を前提にしておかなければ地区の混乱をまねく。その場合、地区研は全事研の下部組織になるのか →(会長)熊事研としての加入なので地区研とは関係ない。

②標準的職務表通知の取り組みについて質疑がありました。

会長より経過報告として、

- ・昨年11月11日の提出以降、具体的な進展はない。
- ・県教委側の受け止め方に「標準的職務表は事務職員の仕事を限定するものであり、それ以外の仕事を排除しようとするものではないか？」との誤った部分があるのでまずはその認識を変えさせる方向で取り組んでいる状態。

今後のとりくみ

- ・熊事研としては、県教委への折衝は勿論だが、4月以降は地教委連絡協議会会長並びに県校長会 会長への協力要請を一段と強めていきたい。
- ・これに連動して各地区でも「地区の地教委連会長並びに校長会会長への要請行動」を理事さん

を 中心に取り組んでもらいたい。

・具体的な取り組み内容及び説明会資料等については来年度提起したい。

といった方向性が示されました。

これに対し、地区ごとをお願いするのも方法だが、他団体(県教委、組合、県議会、校長会)も含めてプロジェクトチームをつくり、各種団体の共通理解をはかっていってはどうかと言った意見も出されました。

これらの意見等を今後も地区研や理事会においても話し合っていくということで、事業報告については承認していただきました。

3 研究推進報告

研究部長から基本方針4・5及び6について報告がありました。

福岡、佐賀、長崎県などは、県としての組織はできたが分科会での研究発表は行われていない。熊本県の研究は他県と比べても実のある研究内容であるといった意見が出ました。

特段の質疑はなく、承認していただきました。

4 一般会計中間報告

5 大会会計決算報告

事務局担当者から一般会計および大会会計について報告がありました。

特段の質疑はなく、承認していただきました。

II 平成17年度(第31回)県大会について(案)

事務局担当者から県大会の期日について報告がありました。

第31回大会は平成17年10月19日(水)～20日(木)で承認されました。

1 会場関係について

全体会については鶴屋ホール、分科会については鶴屋ホール及びパレアホールで承認していただきました。

2 大会基本計画

3 全体研究会実施計画

研究部長より提案がなされました。

・来年度は研究推進5カ年計画最後の年であり、共同実施とからめた職務規程や管理運営規則の研究を考えている。

・昨年にならない全体研究会では県教委の講演の時間を常設してはどうか。

その他特段の質疑はなく、計画を承認していただきました。

4 分科会運営要項

研究部長から報告があり、分科会についていくつか意見が出されました。

・分科会協力員のスタッフ増員について(発表者が受付をしている分科会があったため)

→事前に役割分担や業務の説明がされていれば増やす必要はないのではないかと。

・来年度の各地区レポート内容について、意見交換がなされました。

・教育論文で学校事務の各学校での実践を個人でだしてあるものもあるので、各地区の理事さんにはそのような教育論文にも目をむけてほしい。

その他特段の質疑はなく、承認していただきました。

III 事務必携の作成について

研究部長より編集の状況と発行部数等について報告がありました。

・サイズをA4にしてはどうかという意見がでている。

・部数が増えると一冊あたりの単価が安くなる。

・事務職員以外への販売はどうするのか検討中。

IV その他協議事項

1 事務処理ソフト開発委員会の設置について

会長より次のような提案がありました。

- ・管外異動があったときでも、どこに異動しても利用できるような共通のソフトを県下にひろめて、紹介していったらどうか。
- ・今まで紹介されてきたソフトが活用されていないという声があがっている。しかし、今の組織ではそこまで会員のニーズに応えられない。
- ・メンテナンス、アフターケアどこまでたずさわるのかが検討課題。
- ・設置が可能かどうか、現時点では設置の可能性について探してみる段階。

2 役員選出について

平成16年度は研究部の11名の内10名が交代している。研究部の安定的な運営のためには、**かいいアイデア(任期、選出の方法を定めてはどうか等)**がないだろうか。

→ 次年度具体的なプランを理事会で提案する予定

5 その他連絡事項

役員のお知らせ(ファックスシート)

ファックスシートの依頼(4月末日×切)がありました。

選考委員会より

選考委員長より経過報告がありました。

[理事会議事録トップへ](#)